

# 東京都豊島区



## 新庁舎の全面的な無線 LAN 化で「働き方改革」を加速 セキュリティを確保しつつ区民サービスの拡充も実現



### 製品 & サービス

- Cisco Aironet アクセス ポイント
- Cisco ワイヤレス LAN コントローラ
- Cisco Catalyst スイッチ

### 課題

- 「働き方改革」や「ペーパーレス化」といった取り組みの加速
- 組織改編などに伴う有線ネットワーク、内線電話の工事にかかるコストの削減
- 「地域情報化」に向けたセキュアで利用しやすい情報インフラの構築

### ソリューション

- 新庁舎に「Cisco ワイヤレス LAN ソリューション」による無線 LAN を全面導入し、内線電話を含むコミュニケーション環境を IP ネットワークに統合
- 情報や資料の共有を行うための「職員ポータル」を設置
- 同じアクセス ポイント機器で来庁者向け無料公衆無線 LAN サービスを展開

### 結果～今後

- 電子的な情報共有が促進され、PC からの印刷量が「約 3 分の 2」に削減
- インスタントメッセージャーやボイスチャットの活用が進み、コミュニケーションコストが最適化。フリーワークスペース、テレワークも実現可能な環境に
- ネットを通じた広報や、区民への情報提供が可能なネットワーク基盤を構築。提供範囲やサービス内容の拡大も視野に

東京 23 区の西北部に位置し、世界有数の巨大ターミナルである「池袋駅」を擁する豊島区。池袋を中心に広がる超高層ビル群が象徴する商業都市としてだけでなく、7 つの大学を持つ文教地区としての顔、多くの公園や住宅地を持つ人気の高い居住エリアとしての顔など、多彩な特色を持っています。また「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げており、「文化の力で日本のリーダーとなるまち」「世界の人々を惹きつける国際都市」としての発展にも力を入れています。2015 年に移転した区役所新庁舎は、この構想の中核として、行政サービスや情報発信を行う重要な役割を担っています。

**職員の働き方改革の実現、ペーパーレス化によるコスト削減といった施策を推進するため、新庁舎における業務環境の全面無線 LAN 化は重要なポイントになると考えていました。**

—— 豊島区 政策経営部 情報管理課長 秋山 直樹 氏

豊島区では、2015 年 5 月、50 年以上にわたって使われ、老朽化が問題となっていた旧庁舎から新庁舎への移転を実施しました。区役所が入るとしまエコミューゼタウンは、地上 49 階、地下 3 階のモダンな高層ビルとなっており、1F と 3F ～ 10F までが区役所、ほかのフロアには民間の商業施設や病院、マンションなどが入居する複合型の施設となっている点でも注目されました。

### 課題

豊島区では、以前より、職員の労働生産性を高め、残業や長時間勤務を抑制する「働き方改革」に向けたさまざまな取り組みを続けていました。新庁舎への移転は、その取り組みを加速するにあたって、重要な意味を持っていました。

1961 年に竣工された旧庁舎では、庁舎そのものが IT 基盤やネットワーク環境の存在を前提としない古い設計だったため、IT 基盤の整備には限界がありました。庁内のネットワークは有線 LAN を中心として構築されており、一部の会議室ではケーブルが敷設されておらず、ネットワークが使えないといった状況でした。そのため、新庁舎においては、基幹業務向けを除く、庁内ネットワークの全面的な無線 LAN 化が検討されました。

「IT 基盤の活用による働き方改革の実現、ペーパーレスによる省資源化やコスト削減といった施策をさらに推進するにあたって、庁内における業務環境の無線 LAN 化は重要なポイントだと考えていました」。

そう話すのは、豊島区 政策経営部 情報管理課長の秋山直樹氏です。ケーブルの敷設状況に縛



豊島区  
政策経営部 情報管理課長  
秋山 直樹 氏



豊島区  
政策経営部 情報管理課 情報担当係長(基盤グループ)  
木本 隆 氏

られることなく、PC やスマートデバイスを自由に持ち歩いて業務やコミュニケーションを行えるネットワーク環境によって、職員の「働き方改革」に向けた意識の向上と実践を促すことが大きな目的の1つとなっていました。

また、豊島区では無線 LAN の導入による、設備管理コスト削減の効果にも期待をしていました。豊島区 政策経営部 情報管理課 情報担当係長(基盤グループ)の木本隆氏は「有線 LAN が中心となっていた旧庁舎では、年度替わりに組織改編や人事異動があると、その都度配線替えの作業が必要になり、一千万円単位の費用が発生していました。新庁舎では、ネットワークの無線化と同時に、庁内の電話網も IP ネットワーク上に統合することで、これらの運用管理コストを削減したいと考えていました」と話します。

## 働き方改革やペーパーレス化といった 取り組みの成果を上げるには、 無線 LAN の活用は必須とも言えるでしょう。

### ソリューション

新庁舎における無線 LAN を中心としたネットワーク基盤の検討は、移転プロジェクトの一部として進められ、最終的に「Cisco ワイヤレス LAN ソリューション」の導入が決定しました。導入の要件は、庁内で利用される約 2,000 台のクライアントが常時安定して、かつセキュアに通信を行えること。この要件を満たす製品を選定する際には、複数の導入業者が、シスコ製品を含む提案を行ったそうです。

「旧庁舎時代から、庁内のネットワークにはシスコのスイッチ製品が多く使われていました。その中で安定した運用が行えていた実績が評価されたことが、シスコ ソリューションの提案が多かった理由の1つではないでしょうか」(秋山氏)。

庁舎内のネットワークでは「セキュリティ」が重要なのは言うまでもありません。木本氏は「シスコはワールドワイドに展開しているネットワークベンダーです。セキュリティに関して、日々広範な情報収集を行い、製品の安全性検証やサポートを行っていると感じています。過去の運用実績などからも、シスコのセキュリティに対する取り組みを強く信頼しています」と説明します。

「無線 LAN の場合、実際の電波状況がどう変化するかについては、運用を開始してみないと分からないというのが実感です。この点については、導入を担当した企業と相談の上調査を行い、継続的に対応を行っています。現状では、頻繁な通信断などの問題もなく、快適に無線 LAN 環境を利用できています」(木本氏)。

### 結果～今後

豊島区新庁舎での「働き方改革」は、無線 LAN の整備によって大きく前進しました。ネットワーク上に文書共有が行える「職員ポータル」が設けられ、連絡や会議資料の共有などが積極的に行われるようになりました。目に見える成果として表れたのが「ペーパーレス化」の促進です。

新庁舎では、1フロアに数カ所のコピーサービスコーナーを設置しており、出力面数に応じて業者に印刷料金を支払う方式をとっています。これによると、1年間の出力面数が旧庁舎時代には「1,800 万面」だったのに対し、新庁舎移転後の 2015 年度には「1,200 万面」と、約「3 分の 2」にまで削減されました。2017 年 2 月には全ての PC が無線化されたため、さらなる削減効果が期待されています。「印刷量の削減は、無線 LAN を完備した新庁舎への移転によって、職員の意識が一時的に高まったことも貢献していると考えています。引き続き、資料作成や共有方法に関して、IT をうまく活用するスタイルを提案しながら、意識の向上を続けられるよう取り組みたいと思っています」(秋山氏)。無線 LAN の整備と、内線環境の IP ネットワークへの統合は、職員のコミュニケーションスタイルにも変化を起きました。これまで中心となっていた「メール」に加え、「インスタントメッセージ」



執務フロアに設置されている Cisco アクセス ポイント



フロアのどこにいてもネットワークにつながることで、コミュニケーションにかかる負担が低減している



会議室の入退室を管理するタブレットも無線 LAN でつながっている



や「ボイス チャット」によるコミュニケーションも若い職員を中心として積極的に活用されるようになったと言えます。ユニファイド コミュニケーションのためのさまざまなツールを、相手と要件に応じて使い分けることで、コミュニケーションにかかるコストや手間は、より最適化されます。

「今回の無線 LAN 環境の整備と合わせて、管理職にはタブレット端末が支給されました。通信キャリアの閉域網と組み合わせることで、在庁だけでなく外出時のテレワークも可能です。出張中などでも、確実に連絡がとれるので、職員にも評判は良いようです」(秋山氏)。

豊島区の情報管理課では、新庁舎の無線 LAN 環境を、今後も「働き方改革」の推進に貢献する形で活用していく予定です。例えば、庁舎内の好きな場所で仕事が進められる「フリー ワークスペース」の促進や、遠隔地にいる関係者ともディスカッションができる「Web 会議」の活用なども視野に入れているといます。

「移転後は、PC を自由に持ち運んで仕事ができるのだという意識を職員に持ってもらうところからスタートしています。それが可能になることで、これまでの仕事のやり方をどう変えられるかについて、職員に考えてもらうだけでなく、われわれから職員に対して情報提供や提案を行っていくことも今後の課題です」(木本氏)。

また新庁舎での業務開始に合わせ、庁内だけでなく、行政サービスの一環として IT を活用することにも着手しました。池袋駅周辺にある複数の公共施設で提供を開始している無料公衆無線 LAN サービス「TOSHIMA Free Wi-Fi」もその 1 つで、既に月間約 10 万接続の利用実績があります。新庁舎内で提供されている同サービスのアクセス ポイントには、庁内ネットワークと同じシスコ製品が使われています。5GHz と 2.4GHz の 2 つの周波数帯を、それぞれに職員用、来庁者用とし、内部を VLAN で完全に区切ることで、同じ機器を使って安価かつセキュアに公衆向けのサービスを実現することができました。豊島区では、この「TOSHIMA Free Wi-Fi」をはじめとした、さまざまな行政サービスを通じて「地域情報化」を促進していきたいと考えています。

「TOSHIMA Free Wi-Fi は、地方自治体として、職員だけでなく、区民のためになる IT 環境づくりを行っていくという、区のを考え方を具体化したものの 1 つです。今後は、2020 年の東京オリンピックも視野に入れつつ、IP ネットワークを活用した動画による情報配信なども、積極的に検討していきたいと思っています。シスコには、ぜひそうしたネットワーク活用を行うための提案やアドバイスをいただきたいと思います」(秋山氏)。

「以前から、無線 LAN の活用においては、セキュリティ上の危険性が取りざたされることが多いのですが、実際に 2 年ほど運用してみて、認証や暗号化、監視などの運用が正しく行われていれば、セキュリティレベルは十分に高く維持できると感じています。むしろ、働き方改革やペーパーレス化といった取り組みの成果を上げるには、無線 LAN の活用は必須とも言えるでしょう。無線 LAN の安全性に対する啓発も含め、シスコには、今後もユーザーが安心、快適にネットワークを利用できるソリューションの提供を期待しています」(木本氏)。

### その他の詳細情報

シスコ ワイヤレス LAN ソリューションの詳細は、

<http://www.cisco.com/jp/go/wireless/> を参照してください。

# 豊島区

本庁舎所在地	東京都豊島区南池袋 2 - 45 - 1
規模	1,971 人 (平成 28 年度豊島区人事白書に基づく)
面積	13.01 平方キロメートル
人口総数	284,921 人 (2017.4.1 現在)
URL	<a href="http://www.city.toshima.lg.jp/">http://www.city.toshima.lg.jp/</a>

1932 年 10 月に行われた東京市の市域拡張によって「豊島区」が誕生。1947 年 5 月の日本国憲法と同時に施行された地方自治法により、東京都にある 23 の特別区、特別地方公共団体の 1 つとしての運営が本格化した。その後の地方自治権拡充の動きの中で、副都心としての機能を持つ池袋を中心に大きく発展。「人口密度日本一」の都市としても知られている。現在は、従来からの「文化創造都市」「安全・安心創造都市」を統合、発展させたコンセプトである「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げ、「文化の力で日本のリーダーとなるまち」「世界の人々を惹きつける国際都市」を目指したさまざまな取り組みを行っている。

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2017 年 5 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ

シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>